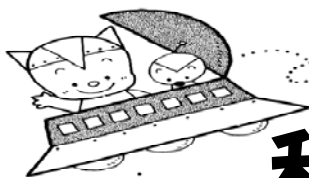


# Welcome to the サイエンス・ワールド!!

2012, 4, 4(水)  
第1号

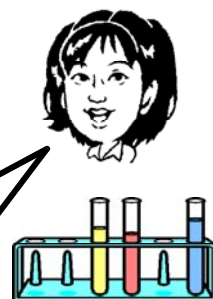
那覇市立教育研究所  
理科通信



## 科学の世界へGo!!

本通信では、身の回りで起きている自然現象やできごと、生き物のくらしや沖縄の植物など、生活の中の不思議なことやなるほど!と思うようなトピックスを紹介していきたいと思えます。

那覇市内各小中学校の子どもたちや理科の指導に当たる先生方への話題・教材研究のヒントになるよう情報提供をすることを目的としています。不定期発行ですが、どうぞ、よろしくお願いします。



### ヒカンザクラが散る時に、花吹雪にならないわけ①

桜の咲く時期になると、「本土のサクラはいいよね。桜吹雪も楽しめるから。沖縄のサクラは花ごと落ちるから風情もない」という話が聞かれることもあります。

風情がないとか、どちらがよいとかは、人の感じ方。私はヒカンザクラの鮮やかなピンク色も沖縄の青空に映えて素敵だと思います。

さて紙面の5枚は、去年の1月に那覇市内で咲いていたヒカンザクラの写真です。

ツバキのように、花ごとほとりと落ちる・・・なぜそのような散り方をするのか、ちょっと花の様子を観察してみましょう。

ヒカンザクラの花を縦に裂くと、下の写真のようになっています。花弁（かべん/花びら）と雄蕊（ゆうずい/おしべ）が合着（がっちゃんく/くっついていること）しているのです。

だから合弁花（ごうべんか/花びらが元の部分でくっついている）のように花弁がくっついた状態で、花ごとスルッと抜け落ちてしまうのです。

（文責：玉村かおり）

